

画面キャプチャーを撮って加工しよう

ホームページの資料をキャプチャーに撮り、授業の教材を作成することができます。必要な部分を切り抜いて見やすい資料を作ることができます。

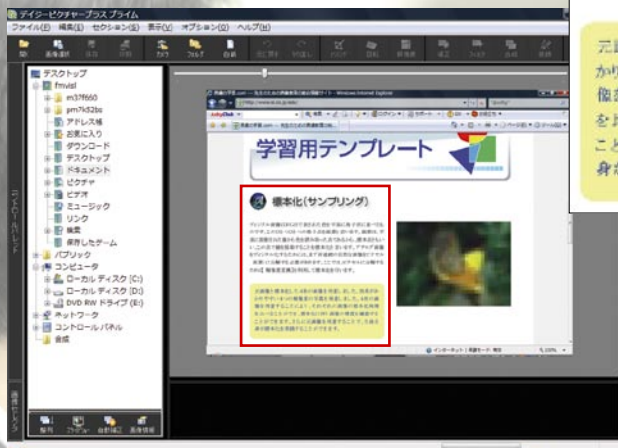
● 事前準備する資料

- 資料に活用するホームページのURL

④ 標本化(サンプリング)

デジタル画像はRGBで表された色を平面に格子状に並べたものです。このひとつひとつの格子点を画素と言います。画素は、平面に投影された像から色を抜き取った点であるから、標本点ともいい、この点で値を採取することを標本化と言います。アナログ画像をデジタル化するためには、まず非連続の自然な画像をピクセル(画素)に分解する必要があります。ここでは、ピクセルに分解するために【解像度変換】を利用して標本化を行います。

元画像と標本化した4枚の画像を用意しました。効果がわかりやすい4つの解像度の写真を用意しました。4枚の画像を用意することにより、それぞれの画像の標本化同期を比べることができ、標本化に伴う画像の精度を確認することができます。さらに元画像を用意することで、生徒自身が標本化を実践することができます。



第3章

108 画面キャプチャを撮って加工しよう

▶ 画面キャプチャを撮ろう

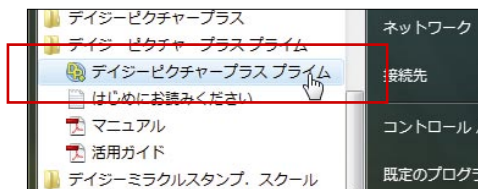
1 利用したいホームページを開き、取り込むページを画面の中央に表示します。



2 キーボードの[PrintScreen]キーを押します。

キーボードの種類によっては表記が違います。
[Prt Sc][PrintScre]など

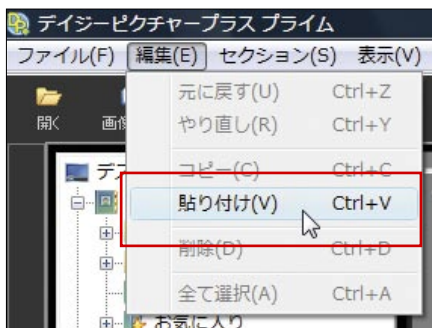
▶ デイジーピクチャープラス プライムを起動しよう



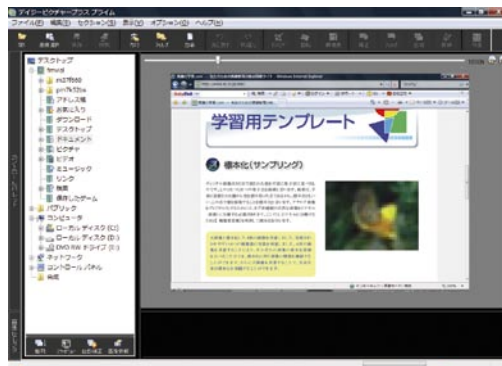
1 [スタート]の[すべてのプログラム]から[デイジーピクチャープラス プライム]を選択します。

▶ データを貼り付けよう

1 ニューバーの[編集]から[貼り付け(V)]をクリックします。



キャンバスに先ほど撮った画面キャプチャが貼り付けられます。



▶ 不要な部分を切り取ろう



1 ツールバーの[トリミング]をクリックします。

2 [領域選択]をクリックします。



3 [領域選択] ウィンドウが表示されます。利用する領域選択をクリックして選択します。長方形に切り抜くので[長方形]を選択します。



4 写真の左上から右下に向かってドラッグをすると、灰色の線が表示され選択した領域選択の型が表示されます。切り抜きたい範囲が型の中に収まるようにドラッグをします。



ドラッグを離すと、灰色の線から緑色の点線に変わり型が確定します。領域選択枠内にカーソルを合わせドラッグをすると型の配置が変更できます。

領域選択枠の位置と大きさの調節方法はマニュアルの23ページを参照ください。

5 [切り抜き]をクリックすると、切抜きを実行します。



4 標本化(サンプリング)

デジタル画像はRGBで表された色を平面に格子状に並べたものです。このOとつOとつOを画素と言います。画素は、平面に投影された像から色を採り取った点であるから、標本点ともいい。この点で値を採取することを標本化と言います。アナログ画像をデジタル化するためには、まず非連続の自然な画像をピクセル(画素)に分解する必要があります。ここでは、ピクセルに分解するためには【解像度変換】を利用して標本化を行います。

元画像と標本化した4枚の画像を用意しました。効果がわかりやすい4つの解像度の写真を用意しました。4枚の画像を用意することにより、それぞれの画像の標本化周期を比べることができ、標本化に伴う画像の精度を確認することができます。さらに元画像を用意することで、生徒自身が標本化を実践することができます。

▶ 保存をしよう → 保存方法は27ページを参照ください。